

CiDER テクニカルセミナー

最新型分子間相互作用解析装置の事例紹介

ブルカー最新型分子間相互作用解析装置「SPR#64」と「heliX」

本セミナーでは、最新型ハイスループットSPR装置である「SPR#64」、複雑な相互作用・細胞表面の相互作用へのアクセスを可能とする次世代の分子間相互作用解析装置である「heliX+」/「heliXcyto」による測定事例についてご紹介させていただきます。

キーワード: 分子間相互作用, 三者複合体解析, 細胞表面・膜タンパク質の相互作用解析

日時: 2026年1月27日 (火)13:30 – 15:30
形式: CiDER共創スペース (7-9階吹き抜け)
+webのハイブリッド



【プログラム】

13:30 - 13:35 : ブルカー・ジャパン会社紹介

(ブルカー・ジャパン株式会社 五十嵐太郎)

13:35 - 14:20 : SPR#64による分子間相互作用プロファイリングの高速化

(ブルカー・ジャパン株式会社アプリケーション部 大城理志)

SPR#64は、8x8=64個の測定スポット・水平/垂直にフロー方向を切り替えるマイクロ流路を備えた最新型のハイスループットSPR装置です。今回は、SPR#64の最大の特徴であるフロー方向の切替えを活用した抗体/各Fc受容体の相互作用プロファイリングの高速化と、PROTAC等の標的タンパク質選択性スクリーニングの事例をご紹介します。

14:20 - 15:05 : 複雑な分子間相互作用解析に新しい角度で切り込むテクノロジー 「SwitchSENSE」と「sc-IC」

(DKSHマーケットエクспанションサービスジャパン株式会社 坂口安史)

SPRとは異なる原理の、2つのユニークな分子間相互作用解析装置をご紹介します。ひとつは、核酸を使って分子をチップ上に提示するSwitchSENSEと呼ぶ方法を使って、二重特異性抗体やPROTACなど複雑な相互作用の高精度なカイネティクス解析を可能にする相互作用解析装置heliX+。もうひとつは細胞表面上での直接のカイネティクス解析が可能な斬新な新手法sc-IC (single cell-Interaction Cytometry) を採用したheliXcyto。両装置の測定原理の概要とアプリケーション例をご紹介します。

15:05 – 15:30: 質疑応答



要・参加登録

参加登録はこちら <https://forms.cloud.microsoft/r/wArdYfi728>



【お問い合わせ】

大阪大学 感染症総合教育研究拠点
(CiDER) 共用実験室 原
info.coref@cider.osaka-u.ac.jp
06-6879-8877